## 那覇市の消費者物価指数 (平成28年平均)

### 1 概 況

- (1) 総合指数は平成27年を100として100.3となり、前年比で0.3%の上昇となった。
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前年比で同水準となった。

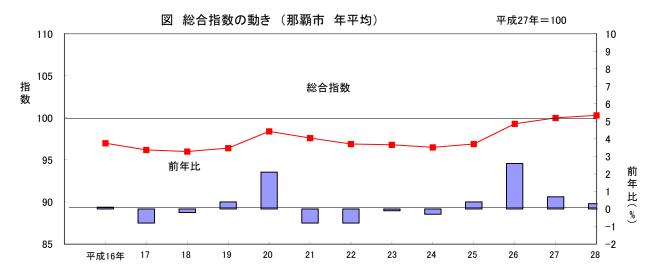


表1 総合及び生鮮食品を除く総合の指数と前年比 (那覇市 年平均)

平成27年=100

年(	年 (平成)			17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
総	<u>۸</u>		数	96.2	96.0	96.4	98.4	97.6	96.9	96.8	96.5	96.9	99.3	100.0	100.3
形态	合	前年 ( %	比 )	▲ 0.8	▲ 0.2	0.4	2.1	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.1	▲ 0.3	0.4	2.6	0.7	0.3
生鮮食を除く		指	数	97.1	96.8	97.1	98.9	98.1	97.2	97.2	97.0	97.3	99.6	100.0	100.0
総合		前年 ( %	比 )	▲ 0.5	▲ 0.3	0.3	1.9	▲ 0.8	<b>1</b> .0	0.1	▲ 0.2	0.4	2.3	0.4	0.0

(注) ▲はマイナスを表す

#### 2 10大費目指数の動向

表2 10大費目指数、前年比及び寄与度 (那覇市 年平均)

			生鮮食品を除く総合	食 料	生 食 品				被服及び履物		交 通 · 通 信		教 養 娯 楽	諸雑費
指	数	100.3	100.0	102.0	106.8	100.1	95.8	99.2	101.6	101.0	99.1	101.5	100.8	100.2
	∓比%)	0.3	0.0	2.0	6.8	0.1	▲ 4.2	▲ 0.8	1.6	1.0	▲ 0.9	1.5	0.8	0.2
寄-	ラ度	0.28	0.00	0.55	0.28	0.02	▲ 0.35	▲ 0.03	0.06	0.04	▲ 0.14	0.05	0.07	0.01

(注) ▲はマイナスを表す

総合指数の前年比が0.3%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料及び教養娯楽などが要因となっている。 なお、光熱・水道などは下落した。

〔主な内訳〕 10大費目 中分類、前年比(寄与度)

上昇 食料 ・・・ 生鮮野菜 9.2% (0.20)

**教養娯楽 ・・・** 教養娯楽サービス 1.7% (0.08)

下落 光熱・水道 ・・・ 電気代 -5.3%(-0.22)

## 沖縄県の消費者物価指数(平成28年平均)

# 1 概況

- (1) 総合指数は平成27年を100として100.1となり、前年比で0.1%の上昇となった。
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は99.9となり、前年比で0.1%の下落となった。

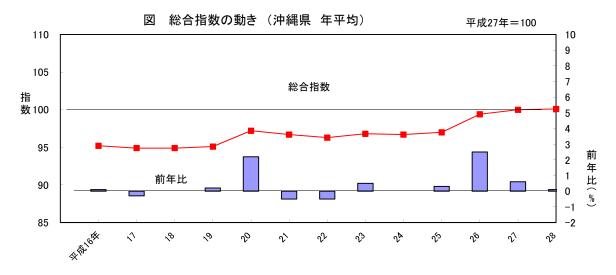


表1 総合及び生鮮食品を除く総合の指数と前年比 (沖縄県 年平均)

平成27年=100

	年 (平成)				17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
総	_	指		数	94.9	94.9	95.1	97.2	96.7	96.3	96.8	96.7	97.0	99.4	100.0	100.1
	合	前 (	「年 %	比)	▲ 0.3	0.0	0.2	2.2	▲ 0.5	▲ 0.5	0.5	0.0	0.3	2.5	0.6	0.1
	生鮮食品		ì	数	95.8	95.7	95.9	97.9	97.4	96.6	97.2	97.2	97.5	99.8	100.0	99.9
を除く 総合		前 (	「年 %	比)	▲ 0.2	▲ 0.1	0.2	2.1	▲ 0.5	▲ 0.8	0.6	0.0	0.3	2.3	0.2	▲ 0.1

(注) ▲はマイナスを表す(以下同じ)

#### 2 10大費目指数の動向

表2 10大費目指数、前年比及び寄与度 (沖縄県 年平均)

			生鮮食品を除く総合	食 料	生 (全 (全 (日)	住居		家 具 · 家事用品	被服及び履物		交 通 · 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸雑費
指	数	100.1	99.9	101.9	105.6	100.1	96.2	97.8	101.1	100.9	98.7	101.6	100.5	100.3
前 <sup>4</sup> ( ?	∓比%)	0.1	▲ 0.1	1.9	5.6	0.1	▲ 3.8	▲ 2.2	1.1	0.9	▲ 1.3	1.6	0.5	0.3
寄-	チ度	0.13	▲ 0.10	0.54	0.23	0.02	▲ 0.32	▲ 0.08	0.03	0.04	▲ 0.20	0.04	0.04	0.02

総合指数の前年比が0.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料、保健医療、教育及び教養娯楽などが要因となっている。なお、光熱・水道などは下落した。

〔主な内訳〕 10大費目 中分類、前年比(寄与度)

上昇 食料 ・・・ 生鮮野菜 7.7% (0.17)

保健医療・・・・ 保健医療サービス 1.6% (0.04)

**教育** ・・・ 授業料等 3.2%(0.05)

教養娯楽 ・・・ 教養娯楽サービス 1.3%(0.06)

下落 光熱・水道 ・・・ 電気代 -5.3%(-0.23)

